

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: **CTプライマーS 硬化剤**
製品種類: 合成樹脂
使用上の制限: 業務用
会社名: シーカ・ジャパン株式会社
住所: 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー 7F
電話: 03-6434-7291
緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811
SDS No.:

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分外

急性毒性(経皮): 区分外

急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト): 区分 4

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 区分 2

生殖毒性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1/区分 3

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

吸引性呼吸器有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 3

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚に接触すると有害のおそれ

吸入すると有害

軽度の皮膚刺激

強い眼刺激

吸入するとアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物
化学名 :合成樹脂

成分名	含有量(%)	CAS No.
キシレン	18	1330-20-7
エチルベンゼン	13	100-41-4
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	5~10	108-65-6
メトキシブチルアセテート	5~10	4435-53-4
ヘキサメチレン=ジイソシアネート	0.1~1	822-06-0

4. 応急措置

吸入した場合

負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
水でうがいをする。

皮膚(又は髪)に付着した場合

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。

目に入った場合

直ちに清浄な水で5分以上洗い流す。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。

飲み込んだ場合

嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。
飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。

最も重要な徴候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

救急者は、保護具を着用する(曝露防止措置の注意事項を参照)。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡、二酸化炭素、粉末。

不適切な消火剤

棒状水

特有の危険有害性

データなし

特有の消火方法

周辺火災の場合:移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
着火した場合:火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。

消火を行う者の保護

火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は保護具(曝露防止措置及び保護措置の項を参照)を着用し、風上で作業する。
屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。
漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

回収物は空気中の水分と反応するので回収容器は密閉しない。
漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。
残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。
回収するときは、火花のでない器具を用いて回収する。
回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに取り除く。火気厳禁。
漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

容器は注意して取扱い、開ける。
皮膚や、眼との接触を避ける。

取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。
作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
適当な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。
取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。使用時には飲食しない。

(火災・爆発の防止)

加熱すると爆発の恐れがある。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
電気機器類は、防爆型(安全増型)のものをを用いる。

局所排気、全体換気

換気のよい区域でのみ使用する。局所排気装置の設置された場所で作業する。

注意事項

液がこぼれた場合、水／炭酸ナトリウム／液体洗剤(90～95/5～10/0.2～2)を散布した後、処理する。
取扱いは換気のよい場所で行う。

安全取扱注意事項

データなし

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

法規に従って、耐火構造、危険物施設に保管する。
容器を換気のよい場所で保管する。
冷所で保管する。
熱、着火源から離して保管するー禁煙。

避けるべき保管条件

直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。
開封状態での保管。

配合禁忌

消防法危険物1, 6類と混載してはならない。

容器包装材料

容器を密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度 :データなし

許容濃度 :データなし

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。

取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。
着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。
この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 :液体
色 :微黄色透明
臭い :特異臭
pH :データなし
初留点/沸点 :136~173℃
沸点範囲 :データなし
融点/凝固点 :データなし
分解温度 :データなし
引火点 :24℃(セタ密閉式)
自然発火温度 :333℃
爆発特性 :引火又は爆発範囲 :1.1~15%
蒸気圧 :データなし
比重/密度 :1.014g/ml(20℃比重として)
粘度 :100mPa・s以下(25℃ B型粘度計)
水に対する溶解度 :水に不溶。水と反応し固化する。

10. 安定性及び反応性

安定性

密閉状態では安定である。

危険有害反応可能性

水、アミン等の活性水素を有する化合物と容易に反応する。
水と反応し炭酸ガスが発生し容器を破裂させることがある。

避けるべき条件

水、アミン化合物の混入。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

COやNOx等の有毒ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

【プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート】

経口LD50ラット8532mg/kg

経皮LD50S※5000mg/kg

吸入(蒸気)情報なし

【キシレン】

経口LD50ラット3500mg/kg

経皮情報なし

吸入(蒸気)情報なし

【エチルベンゼン】

経口LD50ラット3500mg/kg

経皮LD50S※15400mg/kg

吸入(蒸気)情報なし

【メトキシブチルアセテート】

経口LD50ラット4210mg/kg

経皮情報なし

吸入(蒸気)情報なし

【ヘキサメチレン=ジイソシアネート】

経口LD50ラット747mg/kg

経皮LD50S593mg/kg

吸入(蒸気)情報なし

※LD50S:経皮急性毒性LD50mg/kg体重(主としてラットまたはラビット)

皮膚腐食性/刺激性

:区分1/ヘキサメチレン=ジイソシアネート 区分2/キシレン 区分3/エチルベンゼン

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

:区分1/ヘキサメチレン=ジイソシアネート

区分2/キシレン、エチルベンゼン、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

呼吸器感受性:区分1/ヘキサメチレン=ジイソシアネート

皮膚感受性:区分1/ヘキサメチレン=ジイソシアネート

生殖細胞変異原性:情報なし

発がん性

:キシレンはIARC(国際がん研究機関)によりグループ3(ヒトに対する発がん性について分類できない)に分類されている。

エチルベンゼンはIARC(国際がん研究機関)によりグループ2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)に分類されている。

生殖毒性:区分1/キシレン、エチルベンゼン

特定標的臓器、全身毒性(単回暴露)

:区分1/キシレン、ヘキサメチレン=ジイソシアネート

区分2/エチルベンゼン

区分3/キシレン、エチルベンゼン、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート

特定標的臓器、全身毒性(反復暴露):区分1/キシレン、ヘキサメチレン=ジイソシアネート

吸引性呼吸器有害性:区分1/エチルベンゼン 区分2/キシレン

組成物質に関するその他の有害性情報:情報なし

製品に関する有害性情報:製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性 :急性;区分 2 慢性;区分 3

水溶解度 :データなし

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壤中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。

特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

本製品はPRTR法第一種指定化学物質を含有する。

この製品は排水溝中に空けてはならない。

法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。

法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。

焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。

汚染容器及び包装

産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :1263

クラス :3 引火性液体

容器等級 :III

正式品名 :樹脂液

指針番号 :128

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 : 航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法: 表示物質

; キシレン、エチルベンゼン

通知物質

; キシレン(136号)、エチルベンゼン(70号)、ヘキサメチレン=ジイソシアネート(519号)

特化則: 該当

有機則: 第2種有機溶剤

危険物: 引火性のもの

消防法: 危険物; 第4類第2石油類(非水溶性)危険等級II

PRTR法: 第一種指定化学物質 キシレン、エチルベンゼン、ヘキサメチレン=ジイソシアネート

航空法: 引火性液体; 該当

船舶安全法: 引火性液体類; 該当

毒物劇物取締法: 毒物、劇物; 該当せず

海洋汚染防止法: 有害液体物質; Y類物質、Z類物質

海洋汚染物質: 未査定物質

悪臭防止法: 特定悪臭物質; 該当

その他関連法規: 作業環境測定法; 該当

水質汚濁防止法; 該当

廃棄物処理法; 該当

大気汚染防止法; 該当

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上